

子どもと考える地球環境

えな環境フェア2008「私がきめる、未来（あす）の恵那」が、12月6日、市民会館周辺などで、開催され多くの来場者でにぎわいました。

会場では、市民団体や事業所など52の団体が、森の環境や資源のリサイクルなどをテーマに、さまざまなブースを設け、環境保全についてPRしました。また気象キャスターによる「こども環境講座」も開かれ、参加した子どもたちは、クイズや実験などを行いながら地球温暖化について学びました。



「こども環境講座」で温度上昇の実験をする参加者

まちづくり活動をPR

12月7日、市民会館で、まちづくり市民活動推進助成事業により助成を受けた14の市民活動団体が、これまでの活動報告を行い、約200人の市民が参加しました。

ことは「まちづくり発表祭」と題して、活動報告だけでなく、その成果をPRするための展示ブースの設置やアトラクションなどがありました。

趣向をこらした報告会に、参加者は楽しみながら、お互いに交流を深めました。



活動発表を行う市民活動団体

下田歌子賞、家族への思い



最優秀賞の阪上愛心穂ちゃん(岩邑小)の朗読

第6回下田歌子賞の表彰式と記念イベントが、11月30日に岩村公民館で開催され、約250人が参加しました。エッセイでは、小学生の部「ぼくの、わたしの家族じまん」、中高生の部「あなたにとって家族とは?」、一般の部「家族の絆を感じたとき」をテーマに、全国各地から1,294作品。写真の部「ふるさと再発見!あなたが選ぶ恵那市の新名所100選」では、22作品が応募され、厳正な審査の結果、エッセイの各部門の最優秀賞をはじめ30人が受賞しました。

全国初の複合駅が誕生



施設の1階部分に駅待合所を設けた東野駅

明知鉄道が所有する東野駅前の敷地に、高齢者複合福祉施設「ハートホーム東野・ハートヴィレッジ東野」が建設され、同施設内に東野駅舎を併設するという、全国初の複合駅が完成し、12月3日に竣工式が行われました。

竣工式で可知市長は「高齢者のための素晴らしい施設ときれいな駅舎ができ、施設と明知鉄道両方の利用が増えることを期待しています」とあいさつしました。

癒しの道の駅200万人達成

道の駅「おばあちゃん市・山岡」で、11月23日に来場200万人達成記念事業が行われました。記念セレモニーでは、山岡町の竜王太鼓などの演奏後、道の駅の関係者と、同町在住で市の最高齢者の小木曾さださん(106歳)によるくす玉割りが行われ、200万人達成を祝いました。

同時に、サツマイモ約1,000本を使用した大焼きいも大会が開催され、来場した多くの人が、秋の一日をゆっくり過ごしていました。



200万人達成記念をくす玉割りで祝う来場者

棚田百選石積み塾を開講

NPO法人恵那市坂折棚田保存会(田口譲理事長)は、日本の棚田百選「坂折棚田」で学び・働き・楽しむことで、棚田の景観保全につなげようと「第3回坂折棚田石積み塾」を11月29日と30日の2日間開催しました。

作業には、石積み技術を伝承している地元の石工が指導にあたりました。同塾には、愛知県からの参加もあり、受講生たちは伝統の石積み技術を熱心に学んでいました。



指導を受けながら石積みをする参加者

みんなで「みまもりたい」



今後の活動に力強い意欲を見せる隊員たち

山岡町では、市地域福祉計画のアンケート調査結果から、昨年度「独居・高齢者安心カード」を作成し、要援護者・災害弱者の把握を自治会と消防団が行っています。また「昼間の時間帯に消防団員が地域に少ない」との意見が発端となり、新たに自主防災ボランティア79人で構成する「山岡みまもり隊(たい)」(櫻井八朗隊長)を立ち上げ、11月19日、山岡農村環境改善センターで設立総会を行いました。今後は、地域での見守り強化に取り組みます。

本を通してふれあう授業



読み聞かせを熱心に聞き入る上矢作中学校の生徒たち

ブックサポーターかみやばぎ(森井路子代表)が上矢作町に読書を広めようと、活動を始めたのは1年前で、現在、会員は15人で活動しています。

11月20日、上矢作中学校の生徒に読書の楽しさを知ってもらおうと、同校の音楽室で読み聞かせを行いました。同サポーターは川端康成の「伊豆の踊り子」、サトウハチローの詩「おかアさんは おかアさんは」の読み聞かせを行い、全校生徒63人は読み手の思いを感じながら、静かに聞き入っていました。

中山道広重美術館
展覧会

会期
1/21(水) ~ 2/22(日)

開館時間 午前9時半
~午後5時(入館は午後
4時半まで)

観覧料 ▷大人=500
円(団体400円)▷小・
中・高校生=300円(団体
240円)

毎週月曜日(祝日を除く)
祝日の翌日(土日・祝日
を除く)休館。1/19(月)・20日(火)
は展示替え、2/12(木)は、祝
翌日のため休館します。

1月2日、年始特別開館

中山道広重美術館で
は、1月2日(金)を年始特
別開館とし、その日は全
てのお客様の観覧料を無
料とします。

また毎月第1日曜日を
「市民の日」とし、1月4
日(日)は市民に限り観覧料
を無料とします。

皆さん、気軽にお出掛
けください。

問い合わせ 中山道広
重美術館 ☎20-0522

「広重・京都名所之内 - 四季を愛でる心 - 」



歌川広重 「京都名所之内 祇園社雪中」

大判錦絵 1834(天保5)年ころ
田中コレクション

京都名所の春夏秋冬を描いた「京都名所之内」を全点そろいで展示するとともに、四季折々の自然や営みを感じられるような作品の数々を田中コレクションと吉村コレクションからご紹介します。

「郷土の画家 町野華城」



町野華城 「鶯娘」

恵那市所蔵

中山道広重美術館では、来館者の皆さまに郷土の文化に親しんでいただくこと、「郷土の画家」をテーマとし、2006年に山本芳翠展、2007年に西尾楚江展を開催してまいりました。その第3回目として、このたび恵那市長島町久須見出身の日本画家・町野華城の展覧会を開催します。華城は中津川市出身の前田青邨と縁類にあり、青邨が本格的に絵画を学ぶために師匠を探していた折には、たびたび相談相手にもなった良き理解者でもありました。

本展では、恵那市所蔵の華城作品に加え、これまでの展覧会には出品されていない個人蔵の華城作品、また本展覧会の準備調査段階で、恵那市に寄贈された青邨作品をご紹介します。



笠置山「グリーンピア恵那」
活用アイデアを募集

334%もの広大な森林が市民のものになり4年が過ぎました。かつては多くの渡り鳥が通過し、きのこもふんだんに取れ「全山真っ赤」になったといわれるほどの広葉樹林でした。今は木材を生産するヒノキ林が多くなっています。去る3月に「森の健康診断」も行い、人工林の状況が明らかになってきました。市民の手による里山林整備講座も行われています。ここにはまだまだいろいろなものが眠っています。

「グリーンピア恵那跡地がこんなふうになったらいいな」「こんなふうになりたい」などアイデアがありましたら、ぜひ、お寄せください。この森林が「宝の山」になるよう、一緒に活用方法を考えましょう。集まったアイデアを基に、笠置山森のデザイン実行委員会で活用プランを検討し、市に提案する予定です。

規格 はがきや封書(A4サイズ2枚以内)、規定様式などはありません。

送付先・問い合わせ 笠置山森のデザイン実行委員会事務局 〒509-9131中津川市千旦林1522-125-102 ☎・☎0573-68-6016

いただいた文書は返却しません。採用されたアイデアの提出者の氏名は、活用プランに掲載させていただきます

パソコンサポートクラブ
2月期講座のご案内

【はじめてのパソコン講習】

とき 2月3日(火)、11日(水)、17日(火)、24日(火)午前9時半~11時半

内容 文字入力やマウス、キーボードの使い方など、パソコンの基本操作を丁寧に説明します。

講座経費 550円(別途テキスト代900円)

【Word総合講座】

入門・基礎・ドリルのコースより希望選択してください

とき 2月5日(木)、13日(金)、19日(木)、26日(木)午後1時~3時

内容 Word2002を使って ▷入門=キーボード

『みんなの掲示板』は、皆さんが主催するイベントや各種募集などを市内に周知するためのコーナーです。(営利目的・宗教・政治に関する掲載はできません)

掲載の申し込み・問い合わせ 企画課広報
広聴係 ☎26-2111(内線314)

操作から簡単な文書作りをします。▷基礎=ワードアート・地図・画像を使用したチラシ作りをします。▷ドリル=ビジネス文書やチラシ作成のドリル問題に挑戦します。

講座経費 ▷入門=550円 ▷基礎・ドリル=650円

テキスト代 ▷入門・基礎=1,239円 ▷ドリル=1,050円 材料費など実費としていただきます(USBフラッシュメモリを880円程度で購入いただくか、持参してください)

共通

定員 18人(定員になり次第締め切り)

ところ 恵那文化センター視聴覚室

締め切り 1月10日(土)~開講日前日まで。初めて受講する方は、1月26日(月)までに申し込みれば優先されます。再受講者の受講の可否は、1月27日(火)以降に連絡します。

申し込み・問い合わせ パソコンサポートクラブ ☎090-4265-9727 info@psc.enat.jp

第1回天空の里
凧揚げ・どんど焼き大会

飯地町まちづくり委員会が中心となり、飯地に正月の原風景がよみがえります。

どんど焼きの火を囲み、電線のない道でたこ揚げを楽しみませんか。

とき 1月10日(土)▷たこ揚げ受付開始=午前9時▷火入れの神事(どんど焼き)=午前9時半▷たこ揚げ開始=午前10時

ところ 沖田コミュニティセンター「しでこぶしの里 悠楽館」(飯地町)

持ち物 自慢のたこ(会場でも作製できます)

参加料 無料(会場でたこを作製する場合は材料費として200円必要になります)

問い合わせ 飯地町まちづくり委員会事務局(飯地振興事務所内) ☎22-3001

